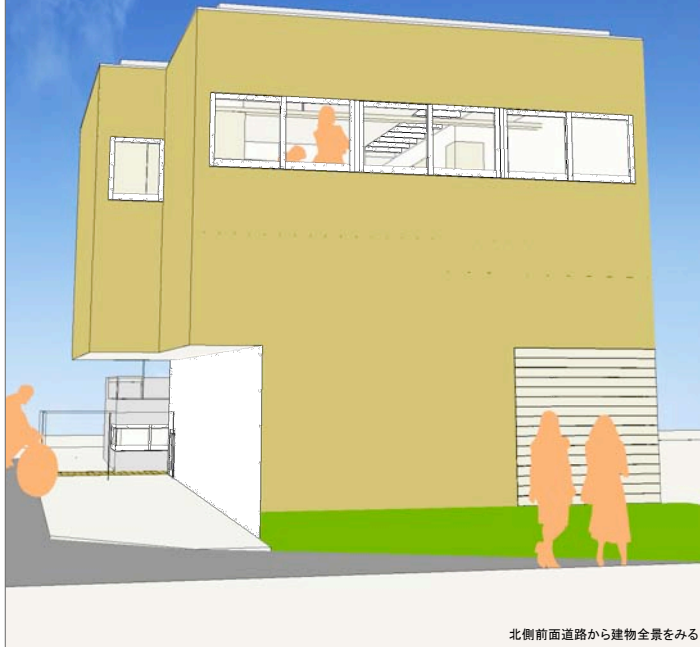


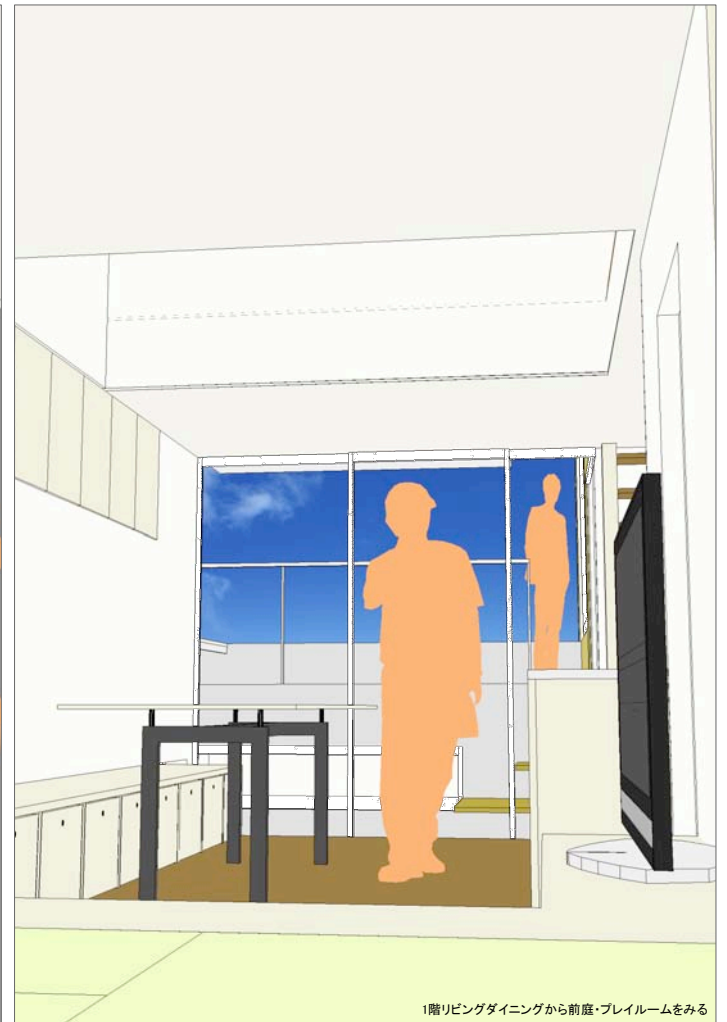
家のなかのどこにいても、いつも太陽と風を感じる家



北側前面道路から建物全景をみる



上空から建物全景をみる



1階リビングダイニングから前庭・プレイルームをみる

1. エコ・環境に優しい家づくり

- ・クライアントの暮らし方を把握して、極力エアコンに頼らない太陽、風、緑など自然のエネルギーを生かした住まいにします。
- ・敷地の特性を最大限に引き出し生かすために敷地内のみにとどまらず、周辺環境も踏まえた計画をして四季を通じ、居心地の良い住まいをつくります。
- ・敷地が南北に長いので、敷地中央から北側に関しては安定した日照を確保することが難しい。その問題を解決するために建物中央に吹抜空間と自然光を建物内へ取り込むためのトップライトを設け、日中は照明要らずの室内環境をつくります。
- ・家族が集うスペースは南に面して配置し、照明要らずの明るい空間を確保します。
- ・敷地南東側の開放感(抜け)と北側建物の引きを利用して南北に十分風が通り抜けるように計画します。
- ・計画地に一番近い羽田での気象データによると、5月から8月は南風が吹く割合が高いので、その風を建物内へ取り込むために南東側に庭を設け、そこに面して大きな取り込み口を用意します。逆に11月から3月にかけては北風が吹く割合が高いので、北面には必要最低限の開口部のみを設けることにします。
- ・前述より、夏期に北側隣家の緑でつくられる冷気を建物内に取り込むのは難しいと判断します。
- ・風通しを良くするために建物内水平方向のみに風の通り道をつくるのではなく、温度差や吹抜空間など垂直方向の風の通り道もデザインします。
- ・LDKや廊下などの共用部にも自然の風が抜けるように入口と出口となる最低2箇所以上の窓を設けます。

2. 南庭とリビングダイニングをつないで空間を豊かに

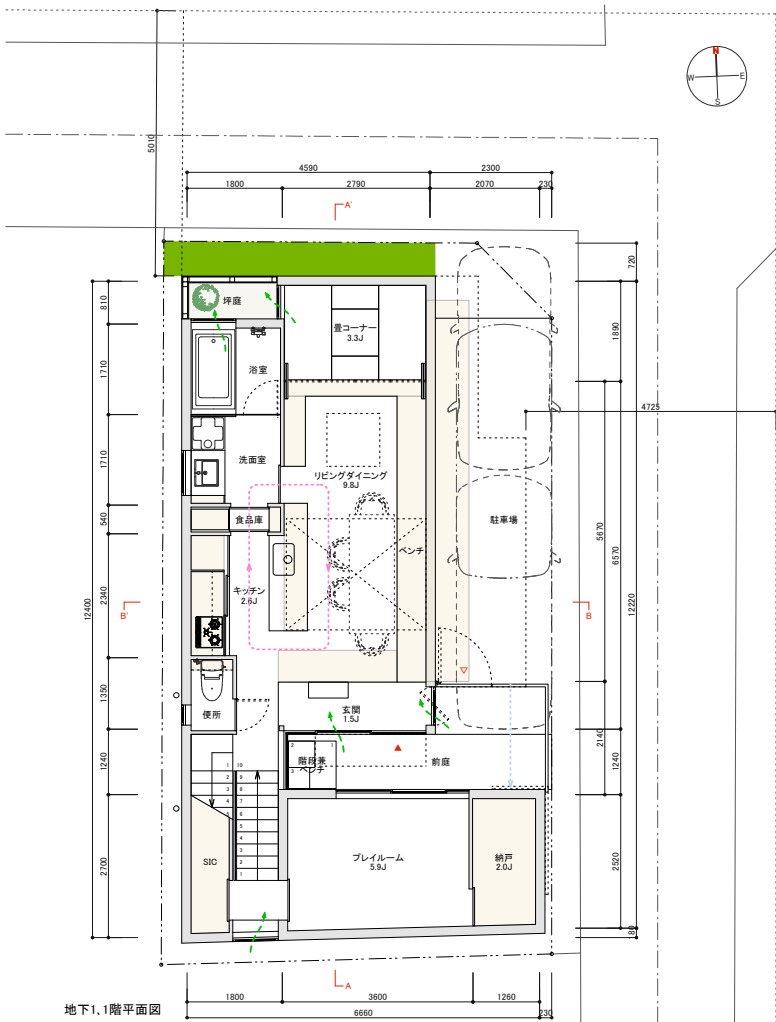
- ・南庭にあるコンクリート屋根は屋上緑化、玄関前はウッドデッキを用いて、熱を蓄えない工夫をして涼しい空間にすることで快適な室内環境をつくります。
- ・夏期の冷房はエアコンを1階トイレ上部と2階子供部屋前に設け、少ない台数のエアコンで家全体に冷気を行き渡らせます。冬期の暖房はヒートポンプ式床暖房を採用し、下からゆっくり放熱して家を暖めます。
- ・夏期の強い陽差しは、庇などの仕掛けを用いて建物の外側で遮蔽します。
- ・敷地全体を有効活用しつつ周辺環境とのつながりも持つ南庭に面してリビングダイニングを計画します。
- ・南庭は友人とバーベキューパーティーをしたり、趣味を楽しんだりといった生き生きとした生活空間になることをイメージしています。
- ・また、南庭はご家族だけの空間ではなく、昔で言う「井戸端会議」をするようなご近所の方との交流をはかれる場所になればと考えています。
- ・南庭-玄関-リビングダイニング-畳コーナーが、異なる床レベルと天井高で空間に立体的な変化を与えながら連続した空間にすることで、変化に富んだ一体化のある空間となり、開放感を与えます。
- ・玄関上櫃下部、造作するベンチや駐車場上部の余裕のある部分に収納を設け、室内にはできるだけ物を置かないようにすることでスッキリとした広い空間をつくります。
- ・個人のスペースは必要最低限とし、家族のスペースを広く設けて、豊かな室内環境をつくります。

3. ローコスト住宅ではなく、コストパフォーマンスのよい住まいづくり

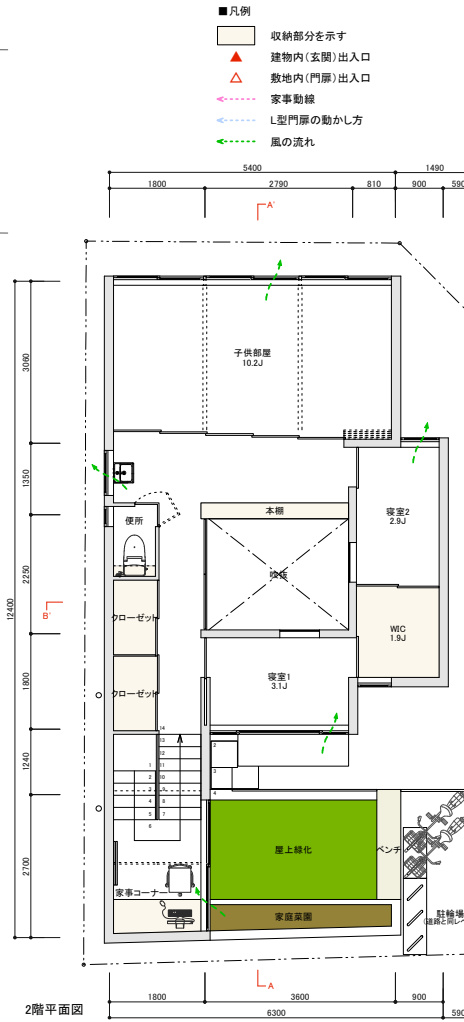
- ・ご予算をオーバーした場合、目立たない部分の仕様変更や施工方法を工夫してクライアントの暮らしに影響のない所でコストダウンを図ります。
- ・デザイン性や機能が損なわれないように留意しつつ、大工などの職人の手間が掛からない納まりを工夫して工期短縮を図ります。
- ・工種を絞りコストダウンを図ります。
- ・充実した収納や本棚は、家具工事ではなく、大工工事でもできるようにシンプルにします。
- ・壁で部屋を細かく分けて設けるよりも、オープン形式で広い空間を設けることでコストダウンを図ります。
- ・上下階の水廻りの位置を重ねるなどの工夫をしてコンパクトにすることで無駄な工事をなくします。
- ・塗装工事などクライアント自身が自分でやる自主施工もコストダウンになります。

4. その他のアピールポイント

- ・弊社から現場までは自転車で行ける近距離でコンタクトの取りやすさとフットワークの良さがアピールポイントになります。
- ・ご予算にもよりますが、深夜電力を利用した蓄熱式床暖房や外断熱工法などを採用して上質な室内環境をつくります。



地下1,1階平面図



2階平面図

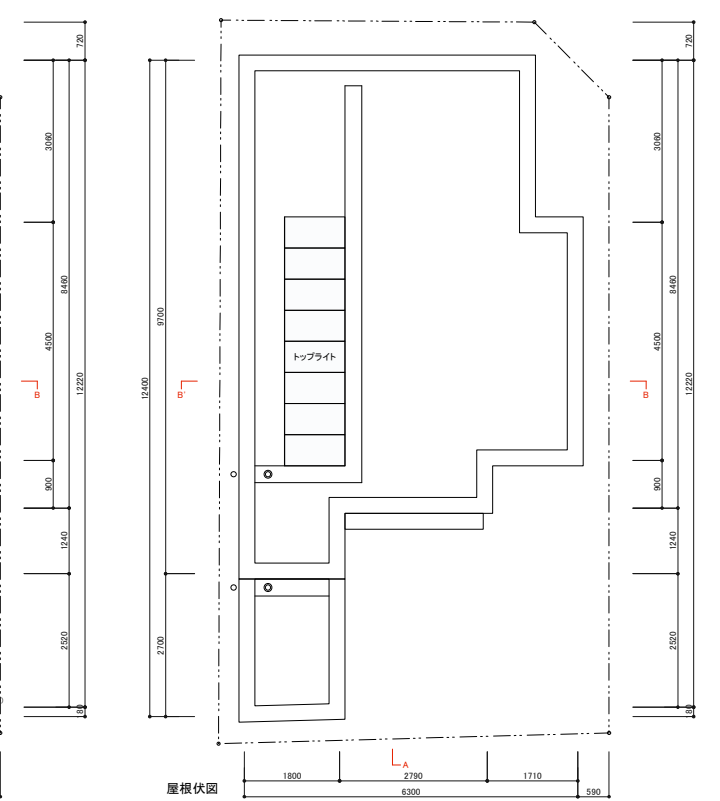
■凡例
 ■ 収納部分を示す
 ▲ 建物内(玄関)出入口
 ▲ 敷地内(門扉)出入口
 ● 家事動線
 ● L型門扉の動かし方
 ● 風の流れ

■計画概要
 敷地面積 98.71㎡(29.86坪)、建築面積 56.05㎡(16.96坪)
 (建築率56.79%、許容60%)
 法定延床面積 108.22㎡(32.74坪)、容積率算入面積 91.18㎡(27.58坪)
 (容積率2.37%、許容100%)
 施工床面積 114.50㎡(34.64坪)、地下1階床面積 17.04㎡(5.15坪)
 1階床面積 41.41㎡(12.53坪)、2階床面積 49.77㎡(15.05坪)
 建物構造 木造一部鉄筋コンクリート造、基礎工法 ベタ基礎

■外部仕上げ
 屋根 F/P防水、外壁/ガルバリウム鋼板一部RC、開口部/アルミサッシ
 前庭床/ウッドデッキ、駐車場床/コンクリート一発仕上
 坪庭: 走り/砂利敷

■内部仕上げ
 地下1階
 プレイルーム 床/フローリング、壁/クロス貼、天井/クロス貼
 1階
 玄関 床/ウッドデッキ、壁/クロス貼、天井/クロス貼
 LDK 床/フローリング、壁/クロス貼、天井/クロス貼
 畳コーナー 床/畳敷、壁/クロス貼、天井/クロス貼
 浴室 床/磁器質タイル、壁/ケイカル板VP、天井/ケイカル板VP
 2階
 家事コーナー 床/フローリング、壁/クロス貼、天井/クロス貼
 寝室1・2 床/フローリング、壁/クロス貼、天井/クロス貼
 子供部屋 床/フローリング、壁/クロス貼、天井/クロス貼
 坪庭: 走り/砂利敷

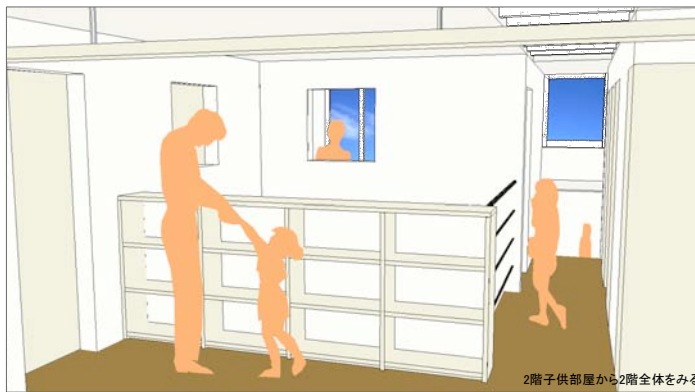
■外部仕上げ
 屋根 F/P防水、外壁/ガルバリウム鋼板一部RC、開口部/アルミサッシ
 前庭床/ウッドデッキ、駐車場床/コンクリート一発仕上
 坪庭: 走り/砂利敷



屋根伏図



1階玄関から1階全体をみる



2階子供部屋から2階全体をみる

1階を家族が集う活動スペースとし、南庭を取り込んだ計画とします。

- 1階玄関
 普段履く靴は、上櫃下部に用意している靴箱の中に入れておきます。そして、玄関廻りをできるだけ広くするためにSICは半階降りのプレイルームの向かいに用意します。
 玄関扉を開放すると南庭と玄関を繋げて利用することもできます。
- 1階リビングダイニング
 壁に面して長いベンチを設け、そのベンチ下部に収納ボックスを用意します。また、上部には吊り戸棚を用意し、収納を充実させます。
- 1階キッチン
 キッチンカウンターは、作業スペースを広くして4面にたっぷりの収納スペースを確保します。そして、冷蔵庫や家電は背面の壁面収納にすっきり収めることができます。また、扉を引き戸にしておけば調理中の作業もはかどります。
- 1階食品庫
 食品庫の扉を開放しておくでキッチンカウンター廻りを一周できるコンパクトな家事動線を実現します。(ピンク点線)
- 1階畳コーナー
 雨の日は畳コーナーに洗濯物が干せるように天井に物干し竿を掛けるためのフックを用意します。
- 地下1階プレイルーム
 ホームシアターなどの場所なので防音性能の高いRC造とします。

- 中2階家事コーナー
 階段踊り場部分に設けることで建物内をおよそ見渡すことができ、家族の気配を感じながら作業をすることができます。
- 2階寝室1・2
 WICを間に挟みL字型に配置することで気配を感じながらも個々の部屋としての落ち着きや独立性も確保します。
- 2階子供部屋
 引戸の上に欄干を設け、通風と自然光を確保します。そして、子供部屋と前室の間仕切り壁を建具することで吹き抜けと一体化した広い空間としても利用できます。
- 2階子供部屋前室
 子供部屋前室に通るだけの廊下の幅より若干余裕を持たせ、本棚を設けることで第2のプレイルームとして利用することができます。
- 2階クローゼット
 主にお子様の衣類を収納します。
- 駐車場
 駐車場に車を2台止める場合は、L型の門扉を駐輪場脇までずらすスペースを確保します。(水色点線)
- 屋上緑化・家庭菜園
 家事コーナーと隣接して設け、ミシンや手袋の間に家庭菜園を楽しむことができます。また、屋上緑化には断熱性能もあるのでプレイルームの室内環境を安定させることが可能です。

